

水土里情報活用ニュース・レター

第 140 号

2020/9

目 次

1. 電子ファイリングシステムと連携した資料管理について紹介します（山形県） … 1
2. 土地改良施設情報のGISデータ整備（埼玉県） … 3
3. 人・農地プラン実質化に向けた図面の作成について紹介します（愛知県） … 5
4. 土地改良区施設台帳のGIS化について紹介します（山口県） … 7
5. 水土里情報とグーグルマップによるため池マップについて紹介します（宮崎県） … 9

■お問い合わせ先（全体）

農村振興局整備部設計課計画調整室 長期計画班 高橋、北條（電話番号）03-6744-2201

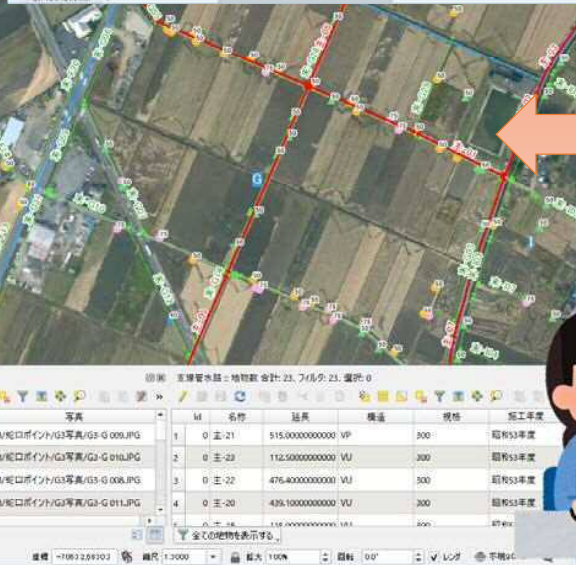
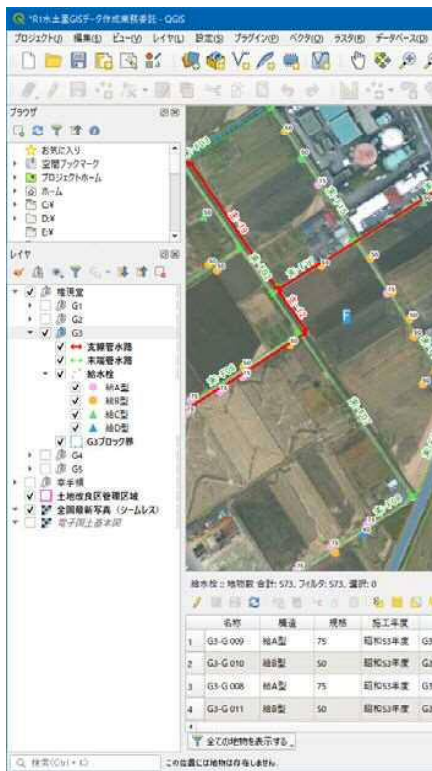
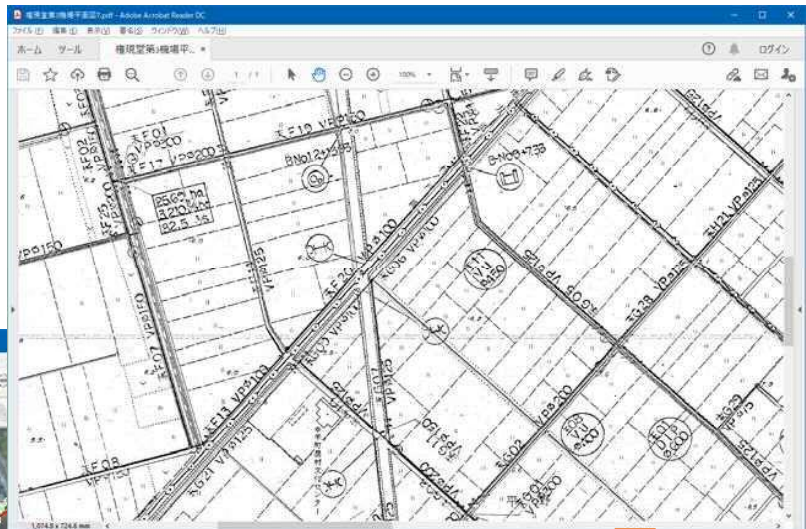
土地改良施設情報のGISデータ整備

今回紹介する団体：水土里ネットさいたま

取組概要

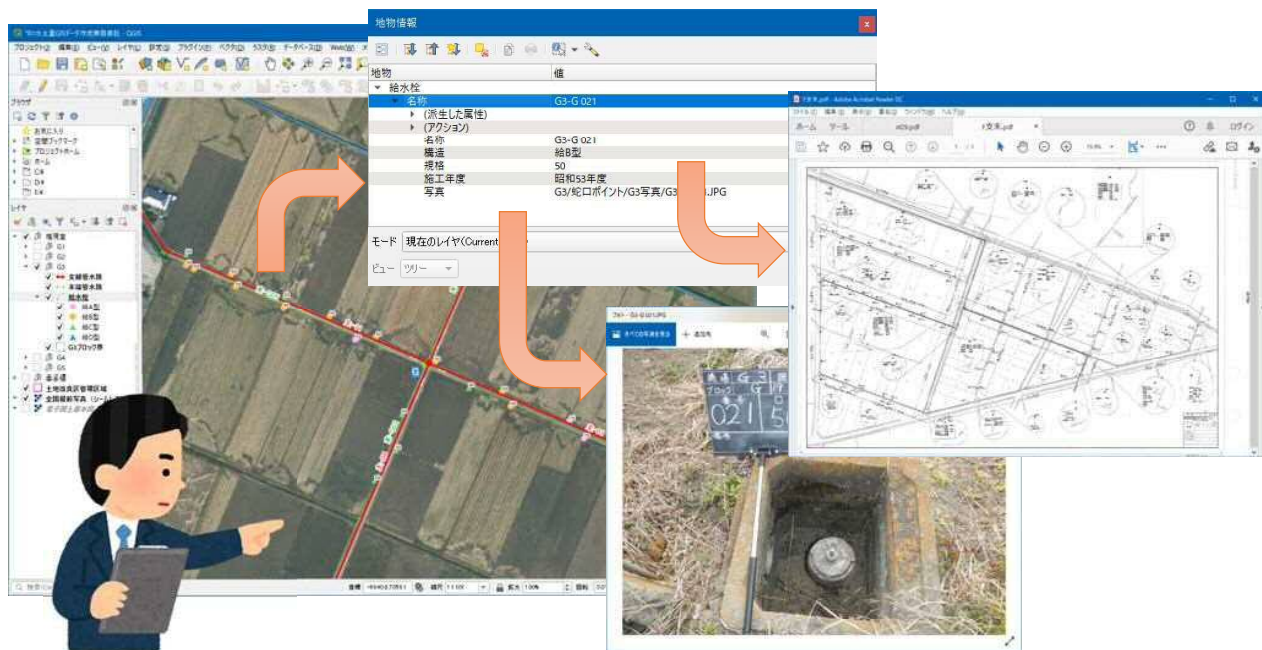
内容： 改良区が管理するパイプライン及び給水栓施設の情報をGISデータ化し、水土里情報システムで管理・更新を行います。併せて関連資料を電子化してGISによる管理運用を一括して行います。

経緯： 水土里情報システムを導入する以前は施設台帳や関連図面の管理は紙媒体で行っており、保管場所の確保や更新履歴管理等において問題を抱えていたことから、水土里情報システムを活用した施設の検索や更新、及び関連情報の閲覧に掛かる時間や労力を軽減出来ないか検討し、GIS化を実施した。



取組による効果

紙媒体による図面管理では経年劣化によって文字や線が擦れたりつぶれたり、閲覧を繰り返すうちに破れたりと情報を失うリスクが高くなるが、GISで電子化することでそうしたリスクを回避できます。併せて今まで別媒体での管理を行っていた施設台帳と連結出来ることから検索に掛かる時間や手間が迅速化され担当者の負担を軽減できる他、水土里情報システムで運用することにより関係機関とのデータ共有が行え、施設の維持管理業務に掛かる労力の軽減に繋がります。



今後の活用予定

紙媒体で図面や台帳の管理を行っている土地改良区へのPRを行い、GISデータ化と水土里情報システムの普及・推進を進め、併せて農地情報との連携や関係機関で整備したGISデータとの共有を図ります。

GISシステムのバージョン情報

GIS ソフトウェア : QGIS 3.10.9

■お問い合わせ先

埼玉県土地改良事業団体連合会 総務部地域支援課

048-530-7352